

開館記念展I

## 絵画の現在



菅原健彦 「円形のジャングル」1993年



菅原健彦 「Water Land-19」1995年



千住博 「ザ・フォール」1995年



森村泰昌 「Brothers (Slaughter II)」1991年

## 11人の作家による11の展覧会

戦後から現在にかけて社会は大きな変貌を遂げました。それに伴い美術の世界も大きく変わることとなりました。社会が多様化・複雑化している状況の中で、作家は自らの立地点を問い続けながら、現在における「絵画」の意味を模索し、あらゆる媒体を最大限に生かして、独自の世界を築いている時代とも言えます。

本展は、こうした現代の絵画をめぐる様々な問題に純粋に取り組み、意欲的な制作活動を行っている55歳以下の国内の作家11人を選び、最近作をそれぞれの個展という構成で紹介するものです。絵画というものが拡大し、従来には考えられなかった新しい形態の作品が次々と現れる中で、国際的な視野をも意識しながら、「絵画の現在」

を通して、これからの絵画とは何かを考える機会とするために企画したものです。

出品作家は、岡村桂三郎、斎藤典彦、菅原健彦、辰野登恵子、千住博、手塚雄二、中村一美、奈良美智、日高理恵子、福田美蘭、森村泰昌の11人です。



中村一美 「死を悼みて冠位の座に座す者」2001-02年



福田美蘭 「Disappear」1996年



辰野登恵子 「UNTITLED 94-7」1994年



奈良美智 「LITTLE RAMONA」2001年

### 2003年7月12日(土)～8月17日(日)

〔開館時間〕午前10時～午後6時(観覧券販売は5時30分まで)  
〔観覧料〕一般800円/大高生500円/中小生300円(中小生は土日祝は無料)

作品図版は一部参考です。



日高理恵子 「空との距離」2002年  
広島市現代美術館蔵



手塚雄二 「風雲風神」2000年



岡村桂三郎 「来迎図-monsoon」2000年



フランス・ハルス 「養老院の女性理事たち」1664年頃 フランス・ハルス美術館蔵



フローリス・ファン・デイク 「チーズと果物のある静物」1613年 フランス・ハルス美術館蔵

©Haarlem, Frans Hals Museum

## 開館記念特別展

# オランダ17世紀 市民の時代 フランス・ハルスと ハールレムの画家たち

2003年10月7日(火)～11月30日(日)

【開館時間】 午前10時～午後6時(観覧券販売は5時30分まで)  
【観覧料】 一般1,200円/大高生700円/中小生500円(中小生は土日祝は無料)

この秋、レンブラントやフェルメールと並ぶオランダの巨匠フランス・ハルスの名品が美術館にやってきます。この展覧会は、新潟県と北ホラント州がこれまで行ってきた友好交流の一環として計画されたもので、北ホラント州の州都ハールレム市にあるフランス・ハルス美術館の所蔵品から、ハルスの作品3点を含むオランダ17世紀の絵画60点を紹介します。

フランス・ハルス(1582年頃～1666年)は、オランダ17世紀を代表する肖像画家、風俗画家です。アントワープに生まれ、幼い頃家族とともにハールレムに移住したハルスは、生涯のほとんどをこの町で過ごし、町に住む豊かな市民たちや下層階級の人々を、素早く的確な筆さばきで描きました。特に、ハールレム市の市民隊や福祉施設の理事たちを描いた「集

団肖像画」では、斬新な構図を取り入れ、またモデルのポーズや表情に変化をつけるなどして、このジャンルに新風を吹き込みました。クールベ、マネ、ゴッホなど、後代の画家にも多大な影響を与えています。

今回の展覧会では、ハルス晩年の大作「養老院の女性理事たち」をはじめ、オランダ17世紀最大の風景画家とされるライスダール、教会内部や都市の景観を正確な遠近法で繊細に描き出したサーンレダム、富裕な商人や農民たちの暮らしを風刺したヤン・ステーンなど、ハールレムで活躍した画家たちの作品を紹介します。

広大な空が広がるオランダ特有の風景や、黄金時代の担い手となった市民たちの生き生きとした姿を、17世紀の旅人になったような気持ちでご覧いただきたいと思います。



加藤唐九郎  
「黒織部茶碗 銘 がらしや」  
1950年



速水御舟 「温泉」1918-19年頃



平山郁夫 「中夏熱鬧図」1971年

## 開館記念展Ⅱ コレクター・駒形十吉の眼 併設平山郁夫展

2003年8月23日(土)～9月28日(日)

【開館時間】 午前10時～午後6時(観覧券販売は5時30分まで)  
【観覧料】 一般800円/大高生500円/中小生300円(中小生は土日祝は無料)

駒形十吉氏(1901～1999年)は、無類の美術愛好家として、長年にわたって国内外の第一級的美術品を収集し続け、「長岡現代美術館」を創設して同時代美術を積極的に支援し、新潟県内のみならず日本中の美術界から多大な注目を浴びました。

今回は、駒形氏が収集した美術品の数々を一堂に展覧し、コレクターとしての審美眼を改めて検証します。

また、併設する「平山郁夫展」では、駒形氏と親交の篤かった日本画家平山郁夫氏の作品を展示します。



元永定正 「作品」1965年



梅原龍三郎 「紫禁城」1942年

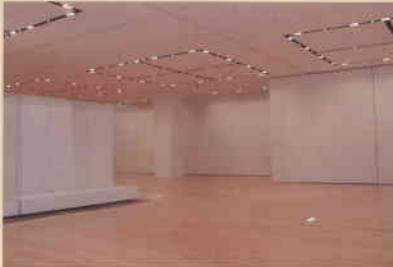
# 新潟県立万代島美術館

## Q & A

複合施設「朱鷺メッセ」内の万代島ビル5階に、7月12日オープンする新潟県立万代島美術館。美術館のオープンを目前にして、Q&Aのかたちで美術館を紹介します。

### Q 美術館への交通手段は？

**A** 新潟駅万代口から、駅前バスターミナル6番線より新潟交通バス「佐渡汽船」行きに乗車、「朱鷺メッセ」バス停で下車します（料金180円）。駅から徒歩20分程度です。万代シティのバスターミナルからは、徒歩約10分です。



展示室

### Q 新潟近郊の他の美術館施設について教えてください。

**A** 新潟市内には、新潟市美術館、知足美術館、雪梁舎美術館、敦井美術館、新津記念館、新潟市會津八一記念館などが、近隣の新津市内には、新津市美術館や中野邸美術館などがあります。これらの美術館の情報は、万代島美術館ホームページのリンク集で紹介しています。



新潟市美術館



知足美術館



雪梁舎美術館



敦井美術館



新津記念館



新潟市會津八一記念館



新津市美術館



中野邸美術館

### Q 近所に駐車場はありますか？

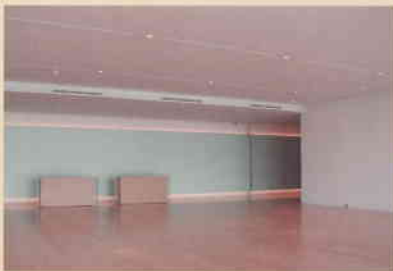
**A** 万代島地区には、県営の万代島駐車場が整備されます。駐車台数は約1,800台（地図参照）で、利用料金は30分ごとに100円（入場から30分以内に出場する場合、駐車料金はいただきません）、1時間以内の利用は200円、以降30分までごとに100円ずつの追加となります。また、万代島ビル内にも駐車場が整備され、駐車台数は約200台、料金は20分ごとに100円となっています。駐車場は「朱鷺メッセ」内の他の施設と共用することになりますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。



展示ケース

### Q 休館日は？ 開館時間は何時から何時ですか？

**A** 休館日は月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）および年末年始、そして展示替の時期となります。開館時間は午前10時から午後6時までで、観覧券の販売は午後5時30分までです。



ロビー

### Q 観覧料はいくらですか？

**A** 所蔵品展の観覧料は表のとおりです。企画展の観覧料は、その都度設定します。小学生・中学生については、年間を通して土日祝日の観覧料が無料となります。

	個人料金	団体料金
一般	300円	240円
高校生 大学生	150円	120円
小学生 中学生	50円	40円

### Q 美術館の中にレストランはありますか？

**A** 美術館内にはレストランは設置されていませんが、万代島ビルの2階などに、喫茶コーナーやレストランがありますので、ご利用下さい。



情報検索コーナー

### Q 万代島美術館に友の会はできるのですか？

**A** 「新潟県立近代美術館友の会」では、会員の方々からの意見を参考に、「近代美術館友の会」と「万代島美術館友の会」を一つにするため、友の会組織の一体化を進めています。会員が両館で開催される展覧会を利用することができる予定です。友の会のシステムや入会方法は、これからホームページ等でお知らせします。



# Schedule 展覧会スケジュール

2003 5 May	プレオープン 所蔵品展 「いろ・かたち・さまざまな表現」 (5月1日～5月5日)
6 June	
7 July	開館記念展Ⅰ 「絵画の現在」展 (7月12日～8月17日)
8 August	開館記念展Ⅱ 「コレクター・駒形十吉の眼 併設平山郁夫展」 (8月23日～9月28日)
9 September	
10 October	開館記念特別展 「オランダ17世紀 市民の時代 ～フランス・ハルスと ハールレムの画家たち～」 (10月7日～11月30日)
11 November	
12 December	「色彩と形のアラベスク ～アメリカ現代陶芸の系譜 1950-1990～」 (12月6日～2004年1月18日)
2004 1 January	
2 February	「新潟の作家100人展」 (1月24日～3月7日)
3 March	
4 April	所蔵品展「横山操展」 (3月13日～5月5日)
5 May	

※展覧会名は仮称です。また、会期は変更されることがあります。



複合施設「朱鷺メッセ」の開業記念イベント「朱鷺めき新潟・未来ワールド」にあわせて、5月1日から5日間プレオープンとして開催します。7月12日(土)からの開館に先立ち、2000年度から2002年度にかけて新しく收藏した国内外の美術作品の中から、約80点を無料で一般公開します。

**入場無料**

## 一般公開 万代島美術館プレオープン展 「いろ、かたち、さまざまな表現」

2003年5月1日(木)～5月5日(祝) (開館時間) 午前10時～午後6時

## 万代島美術館のホームページを開設しました!

現在開催中の展覧会情報や講演会の案内など、万代島美術館の最新情報をお届けしていきます。ぜひ訪問して、ブックマークして下さい!

### ホームページアドレス

<http://www.lalanet.gr.jp/banbi/>



## 新潟県立近代美術館の企画展



### 新潟県立近代美術館

〒940-2021 新潟県長岡市宮関字居掛278-14 TEL 0258-28-4111 (代表)  
<http://www.lalanet.gr.jp/kinbi/>

## ■ 三代藍堂・宮田宏平展

2003年4月26日(土)～6月15日(日)

佐渡出身で現代金属造形の代表的作家である三代藍堂・宮田宏平(1926年～)の回顧展。東京美術学校(現在の東京芸術大学)卒業後、宮田は日展、日本現代工芸美術展を中心に、工芸革新の旗手として、素材、造形素材の開拓、鋳造技術の改良に努め、従来の工芸概念を覆した立体造形ともいえる造形領域を確立してきました。また、鋳型鋳造の特質を生かしたアクセサリーでも高い評価を得ています。この展覧会では、代表作を含む約130点で宮田の制作歴を回顧、紹介します。

## ■ モーリス・ドニ展

2003年7月5日(土)～8月31日(日)

1880年代終わりから20世紀前半にかけて活躍した画家・版画家モーリス・ドニ(1870～1943年)の回顧展。ドニは新芸術の先駆者を自認した若い画家たちの結成した「ナビ派」の最年少の一員ながら、理論家として近代絵画の方向性を示しました。今回の22年での個展は、1981年に東京と京都で開催されて以来日本ぶりとなるものです。この展覧会は、パリ郊外のサン＝ジェルマン＝アン＝レイにあるプリウレ美術館の所蔵品約80点で構成されています。

【開館時間】 午前9時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)  
【休館日】 月曜(ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)。

# HOW TO ACCESS

新潟県立万代島美術館へのアクセス



### 新潟空港から

● タクシー……………約25分

### 自動車

● 新潟中央IC料金所……………約20分

● 紫竹山IC……………約15分

### 新潟駅から

● バス……………約10分

● タクシー……………約5分

● 徒歩……………約20分

## B・island

新潟県立万代島美術館  
【準備ニュース 2号】

■ 発行日:2003年3月25日

■ 編集・発行:新潟県教育庁文化行政課 新美術館開設準備室

〒950-0078 新潟県新潟市万代島5-1 万代島ビル5F

新潟県立万代島美術館

TEL 025-290-6655 (代表)

FAX 025-249-7577

URL <http://www.lalanet.gr.jp/banbi/>